

平成 27 年度第 4 回  
伊万里地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成 28 年 1 月 15 日  
佐賀県教育委員会

# 目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第3回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	新高校の学科構成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
資料 3	新高校の校地について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
資料 4	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
資料 5	伊万里地区新高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・	28
資料 6	伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・	29

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）  
第3回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 10月23日（金） 10時～11時30分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 10月26日（月） 15時～16時30分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 10月27日（火） 10時～11時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 9人 県教育委員会関係委員 7人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成27年 10月27日（火） 15時～16時 （太良高校視察は、13：45～） 太良高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 10月29日（木） 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 7人

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認</p> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学科を設置する案も資料には示されているが、ニーズがあるだろうか。学科等で特色を出すより、普通科と商業科の組合せが良いと思う。</li> <li>・ 普通科で基礎学力を身に付け、進学して専門性を身に付けるという考えでもいいのではないか。新高校の学科構成は、普通科120人、商業科80人を募集定員とするパターンがいいと考える。</li> <li>・ （新高校の学科等について）「中学生にアンケートをしてはどうか」という意見があったが、中学生にニーズを答えさせるのは難しいと思う。学科に関しては、大人が時代を見ながら決めてやるべきだと思うが、大学入試制度が変わったり、技術革新も進んだりする中、固定化した学科よりも、例えばコースにする等、柔軟性を持たせた方が良いのではないか。</li> <li>・ 医療・看護・介護分野へ進学する生徒が多い現状を踏まえると、そういった分野のコースを作ることも考えられると思う。</li> </ul>

地区	主な意見等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通科と商業科を融合したような学科で、進学にも就職にも対応させるとか、文理学科のような学科で、文系にも理系にも対応させるようなことはできないか。</li> <li>・ 普通科と商業科を一括して募集し、2年次から学科ごとに分ける方が子ども達のニーズに合うのではないか。</li> </ul>
伊万里地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認</p> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料に学科構成のパターンが複数示しており、農業科だと「生物生産科」、商業科だと「商業科」が必ず入っているが、それらが中心になると理解してよいか。</li> <li>・ 資料の学科パターンに新高校の学科の一つとして農業系とか商業系の融合学科というものが示されているが、具体的な構想を示してほしい。</li> <li>・ 生徒募集は農業科と商業科でくくり募集を行い、2年次からコース選択のような形を取るわけにはいかないのか。</li> <li>・ 新高校の募集定員は200人と決まっているが、これを5学級ではなく、6学級にすることはできないのか。</li> <li>・ 地方創生が議論される中、産業界からの声を聞くために、商工会議所や農協などの方に、この会に参加してもらってはどうか。</li> </ul>
嬉野地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域社会に貢献できる人材を育成する学校」とあるが、「地域」を無くして、「社会貢献」とした方が広がりがある良いのではないか。</li> <li>・ 地域に必要とされる学校でなければならない。やはり「地域」は必要ではないか。</li> <li>・ 「めざす学校像」には「グローバル」より「国際化」の方がふさわしいのではないか。</li> </ul> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業科の場合は、資格取得や専門の学習が大変になるので、1年生の時から専門的な勉強をさせた方がいい。</li> <li>・ 企業側としては、工業科の専門性は高い方が良い。総合学科は専門性の深い学習ができていないか疑問を持たれる。専門学科を残してほしい。</li> <li>・ 総合学科の福祉系列も、国家試験を取らせるために1年生から専門的な学習をさせている。他の総合学科を参考にして、工業の専門性についても工夫できるところがあるのではないか。</li> <li>・ 平成30年度を100人ずつで募集できないか。</li> <li>・ 小規模化していく中で、工業の小学科については、産業界の意見等も聞く必要があると思う。</li> </ul>

地区	主な意見等
唐津地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校時についての校内検討では、始業時間を変えないで、放課後の時間を確保するという案も出た。遅い校時の太良高校と違えることで、学校選択の判断材料のひとつとなるのではないか。</li> <li>・ 不登校経験や発達障害のある生徒も通学しやすいよう、太良高校のように始業時間を遅らせる案が良いのではないか。</li> <li>・ 巖木高校の場合、「地元の協力」という際、昔の巖木町であればわかりやすいが、今は唐津市ということもあり、「地域」「地元」のとらえ方が難しい。</li> </ul>
鹿島地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性格が異なる2つの高校を一緒にして、新たな学校づくりをするという方向で、それぞれの学校の良さをうまくつなげて「めざす学校像」を作っていると思う。</li> </ul> <p>事務局案のとおり承認 学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通科と専門学科から40人ずつ減らすパターンが現実的と思う。ただ、どちらを先に減ずるにしても、理由の整理が必要である。</li> <li>・ 組合せは、普通科160人、商業科40人、食品調理科40人が良いのではないか。</li> <li>・ 平成30年度の40人の定員減を、普通科と専門学科から20人ずつの減とできないか。</li> </ul>

資料2 新高校の学科構成について

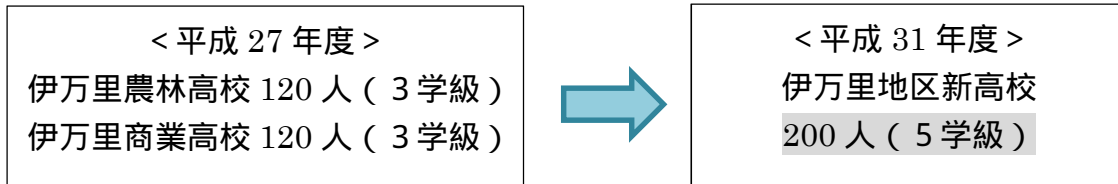
1 新実施計画（第1次）における新高校の学科についての基本的な考え方  
 「現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。」こととしている。

2 新高校の学科構成について

<平成27年度現在の学科の状況>

学校	大学科	小学科	募集定員 (人・学級)	備考
伊万里農林高校	農業科	生物生産科	40人・1学級	2年次より 「植物コース」「動物コース」
		食品化学科	40人・1学級	
		森林工学科	40人・1学級	2年次より 「土木コース」「林業コース」
伊万里商業高校	商業科	商業科	80人・2学級	
		情報処理科	40人・1学級	

(1) 募集定員の見込



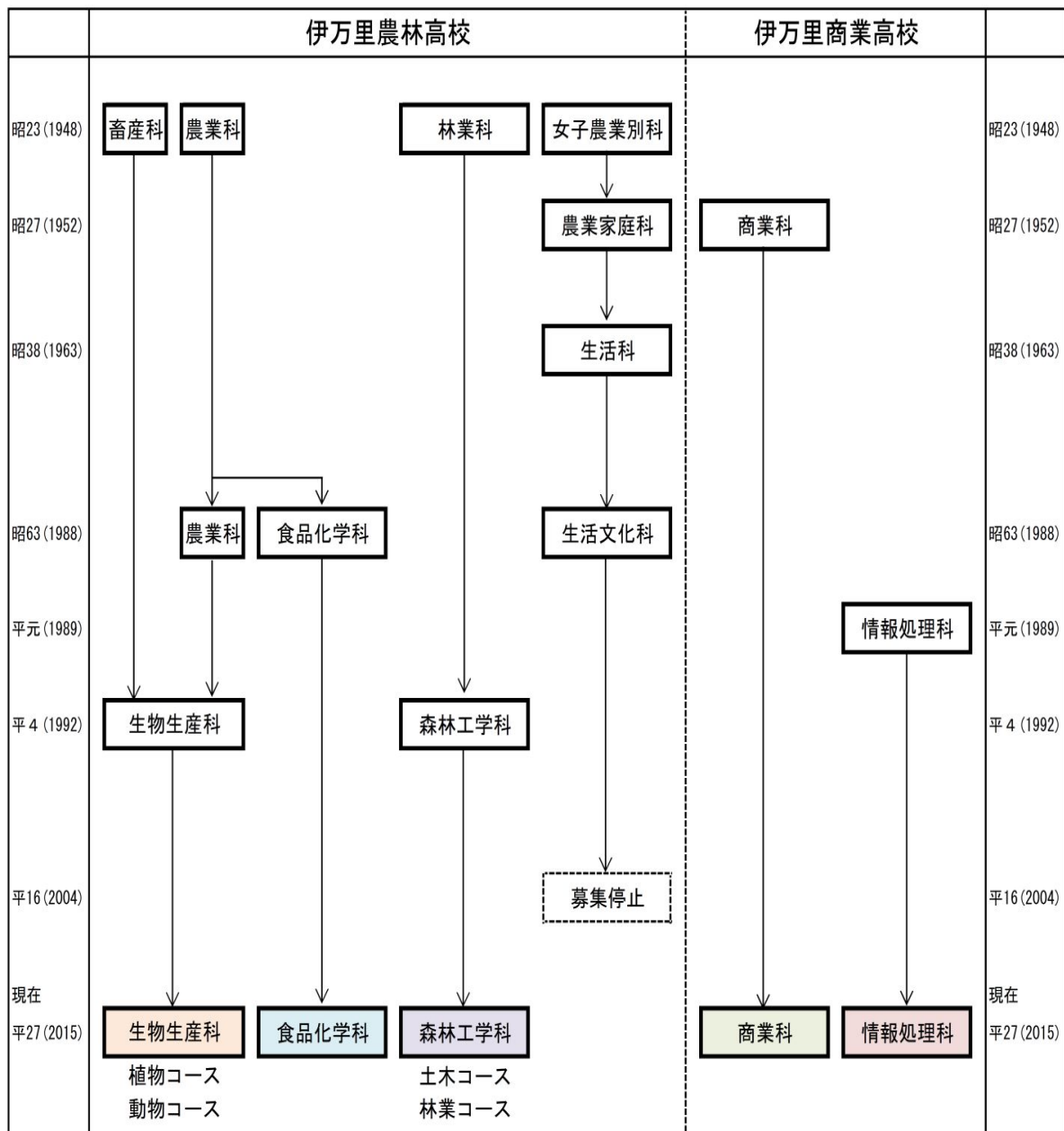
(2) 学科構成として考えられるパターン

平成31年度									
パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数	パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数
パターン1	農業科	生物生産科	40	1	パターン5	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	40	1		商業科	商業科	40	1
情報処理科		40	1	情報処理科	40		1		
パターン2	農業科	生物生産科	40	1	パターン6	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			食品化学科	40	1
		森林工学科	40	1			※融合新学科(農業系)	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
パターン3	農業科	生物生産科	40	1	パターン7	農業科	生物生産科	40	1
		森林工学科	40	1			食品化学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	40	1
		情報処理科	40	1			情報処理科	40	1
パターン4	農業科	生物生産科	40	1	パターン8	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	40	1			森林工学科	40	1
	商業科	商業科	80	2		商業科	商業科	80	2
		情報処理科	40	1			※融合新学科(商業系)	40	1

募集定員を農業科100人、商業科100人(6学級)とした場合

パターン	大学科	小学科	募集定員	学級数
パターン9	農業科	生物生産科	40	1
		食品化学科	30	1
		森林工学科	30	1
	商業科	商業科	70	2
		情報処理科	30	1

1 これまでの学科の変遷（学制改革以降）



## 2 各学科の内容

### 生物生産科（伊万里農林高校）

平成4年、学科改編により農業科・畜産科を生物生産科と改称  
コース

- <植物コース> 農業専門科目の「野菜」、「果樹」、「草花」を2年次必修、3年次は3つのうち1科目選択必修。「植物バイオテクノロジー」は2・3年次必修。また、3年次には「グリーンライフ」や家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。
- <動物コース> 農業専門科目の「畜産」は2・3年次必修。「動物科学」は2年次、「動物バイオテクノロジー」は3年次に必修。また、3年次には「グリーンライフ」や家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。

### 食品化学科（伊万里農林高校）

昭和63年に新設

農業専門科目の「食品製造」、「食品化学」、「微生物利用」は2・3年次必修。「食品流通」については2年次必修、3年次選択可能。「食品衛生学」と家庭専門科目の「フードデザイン」は3年次に選択可能。

### 森林工学科（伊万里農林高校）

平成4年、学科改編により林業科を森林工学科と改称  
コース

- <土木コース> 農業専門科目の「農業土木設計」、「農業土木施工」、「水循環」は2・3年次必修。「測量」は2年次必修、3年次は選択可能。また、3年次は「造園技術」と家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。
- <林業コース> 農業専門科目の「森林科学」、「森林経営」、「林産物利用」は2・3年次必修。「測量」は2年次必修、3年次は選択可能。また、3年次は「造園技術」と家庭専門科目の「フードデザイン」を選択可能。

### 商業科（伊万里商業高校）

商業専門科目の「財務会計」か「原価計算」のどちらかを2年次に必修。3年次は「ビジネス情報」を必修とし、「ビジネスと経済」、「経済活動と法」、「財務会計」、「電子商取引」は選択科目。

### 情報処理科（伊万里商業高校）

平成元年に新設。

商業専門科目の「財務会計」、「ビジネス情報」、「プログラミング」は2年次に必修。3年次は「電子商取引」、「ビジネス情報処理」を必修とし、「ビジネスと経済」、「経済活動と法」、「財務会計」、「原価計算」は選択科目。



3 伊万里農林高校と伊万里商業高校の教育課程表

伊万里農林高校（生物生産科）

全日制 生物生産科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成 27 年度 入学（第 1 学年）							
		標準 単位数	学年 コース	1 年		2 年		3 年		合 計	
				植物コース	動物コース	植物コース	動物コース	植物コース	動物コース	植物コース	動物コース
国 語	国 語 総 合	4	4							4	
	国 語 表 現	3						★(2)		0・2	
	現 代 文 B	4			2			2		4	
地 理	世 界 史 A	2			2					2	
	日 本 史 A	2						②		0・2	
歴 史	地 理 A	2						②		0・2	
	現 代 社 会	2	2							2	
公 民	政 治 ・ 経 済	2						★[2]		0・2	
	数 学 I	3	3		2					5	
数 学	数 学 A	2						2		2	
	科 学 と 人 間 生 活	2	2							2	
理 科	生 物 基 礎	2						2		2	
	体 育	7～8	2		3			2		7	
保 健 体 育	保 健	2	1		1					2	
	音 楽 I	2	②							0・2	
芸 術	美 術 I	2	②							0・2	
	書 道 I	2	②							0・2	
外 国 語	コミュニケーション類I	3	3							3	
	コミュニケーション類II	4			★(2)			★[3]		0・5	
	英 語 会 話	2			★(2)					0・2	
家 庭 情 報	家 庭 総 合	4	2		2					4	
	社 会 と 情 報	2								0	
各学科に共通する教科小計			21		14			17・15・10		52・50・45	
農 業	農 業 と 環 境	2～6	4							4	
	課 題 研 究	2～6						2		2	
	総 合 実 習	2～12	3		3			1		7	
	農 業 情 報 処 理	2～6	2		2					4	
	作 物	2～8			2			★[3]		2・5	
	野 菜	2～8			2			[6]		2・8	
	果 樹	2～8			2			[6]		2・8	
	草 花	2～8			2			[6]		2・8	
	畜 産	2～8				4			6		10
	農 業 経 営	2～6						2		2	
	農 業 機 械	2～6						★[2]		0・2	
	植 物 バイオテクノロジー	2～6			2			2		4	
	動 物 バイオテクノロジー	2～6							2		2
グリーンプライフ	2～6						★(2)		0・2		
動 物 科 学	2～10				4					4	
家 庭	フードデザイン	2～6						[2]		0・2	
主として専門学科において開設される教科小計			9		15			13・15・20		37・39・44	
校 外 学 習 活 動	就 業 体 験	1～20									
	知 識 及 び 技 能 審 査										
総 合 的 な 学 習 の 時 間					1					1	
履 修 単 位 の 計 (校 外 学 習 活 動 を 除 く)			30		30			30		90	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1		1			1		3	
	生 徒 会 活 動		別途計画								
	学 校 行 事										

- 備考・○、( )、[ ]、【 】、□は1科目選択。
- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
  - ・ 総合実習は、1年次野菜、果樹、草花、畜産の4パート。2年次は植物コース（野菜・果樹・草花）、動物コース（畜産）の4パート。
  - ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
  - ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
  - ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

伊万里農林高校（食品化学科）

全日制 食品化学科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成 27 年度 入 学（第 1 学 年）			
		標準 単位数	学年	1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	国 語 総 合	4		4			4
	国 語 表 現	3				★(2)	0・2
	現 代 文 B	4			2	2	4
地 理	世 界 史 A	2			2		2
	日 本 史 A	2				②	0・2
歴 史	地 理 A	2				②	0・2
	現 代 社 会	2	2				2
公 民	政 治 ・ 経 済	2				★②	0・2
	数 ・ 学 I	3	3		2		5
数 学	数 学 A	2				2	2
	科学と人間生活	2			2		2
理 科	化 学 基 礎	2	2				2
	生 物 基 礎	2				2	2
	体 育	7～8	2		3	2	7
保 健 体 育	保 健	2	1		1		2
	音 楽 I	2	②				0・2
芸 術	美 術 I	2	②				0・2
	書 道 I	2	②				0・2
	コミュニケーション類Ⅰ	3	3				3
外 国 語	コミュニケーション類Ⅱ	4			★(2)	★[3]	0・5
	英 語 会 話	2			☆(2)		0・2
	家 庭 総 合	4	2		2		4
情 報	社 会 と 情 報	2					0
各学科に共通する教科小計				21	16	17・15・10	54・52・47
農 業	農 業 と 環 境	2～6	2				2
	課 題 研 究	2～6				2	2
	総 合 実 習	2～12	3		3	3	9
	農 業 情 報 処 理	2～6	2		2	★(2)	4・6
	食 品 製 造	2～8	2		2	2	6
	食 品 化 学	2～8			2	3	5
	微 生 物 利 用	2～6			2	3	5
	食 品 流 通	2～6			2	★②	2・4
	食 品 衛 生 学	2～6				★[3]	0・3
家 庭	フードデザイン	2～6				②	0・2
主として専門学科において開設される教科小計				9	13	13・15・20	35・37・42
校 外 学 習 活 動	就 業 体 験	1～20					
	知 識 及 び 技 能 審 査	1～20					
総 合 的 な 学 習 の 時 間					1		1
履 修 単 位 の 計 (校 外 学 習 活 動 を 除 く)				30	30	30	90
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1		1		3
	生 徒 会 活 動						
	学 校 行 事						
				別途計画			

備考・○、( )、[ ]、□は1科目選択。

- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次□の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
- ・ 総合実習は、1年次は農産加工。2年次は農産加工、応用微生物、食品化学の3パート。3年次は農産加工、畜産加工、応用微生物、食品化学の4パート。
- ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で放課後や長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
- ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
- ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

伊万里農林高校（森林工学科）

全日制 森林工学科

佐賀県立伊万里農林高等学校

教科科目		入学年度		平成 27 年度 入学（第 1 学年）						
		標準 単位数	学年 コース	1 年	2 年		3 年		合 計	
					土木コース	林業コース	土木コース	林業コース	土木コース	林業コース
国 語	国 語 総 合	4	4						4	
	国 語 表 現	3					★(2)		0・2	
	現 代 文 B	4			2		2		4	
地 理	世 界 史 A	2			2				2	
	日 本 史 A	2					②		0・2	
歴 史	地 理 A	2					②		0・2	
	現 代 社 会	2	2						2	
公 民	政 治 ・ 経 済	2					★[2]		0・2	
	数 学 I	3	3		2				5	
数 学	数 学 II	4					★[3]		0・3	
	数 学 A	2			★[2]		☆(2)		2	
	理 科	2	2						2	
保 健 育	生 物 基 礎	2					2		2	
	体 育	7～8	2		3		2		7	
芸 術	保 健	2	1		1				2	
	音 楽 I	2	②						0・2	
	美 術 I	2	②						0・2	
外 国 語	書 道 I	2	②						0・2	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅰ	3	3						3	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ	4			★(2)		★(2)		0・4	
家 庭 情 報	英 語 会 話	2			☆(2)				0・2	
	家 庭 総 合	4	2		2				4	
各 学 科 に 共 通 す る 教 科 小 計			21		16・14		17・15・10		54・52・45	
農 業	農 業 と 環 境	2～6	2						2	
	課 題 研 究	2～6					2		2	
	総 合 実 習	2～12	3		5		1		9	
	農 業 情 報 処 理	2～6	2		☆[2]		☆[2]		2・4・6	
	森 林 科 学	2～8				2		5	7	
	森 林 経 営	2～8				2		2	4	
	林 産 物 利 用	2～8				2		3	5	
	農 業 土 木 設 計	2～8			2		5		7	
	農 業 土 木 施 工	2～6			2		3		5	
	造 園 技 術	2～8						☆(2)	0・2	
	測 量	2～8	2		2			☆[3]	4・7	
水 循 環	2～6			2		2		4		
家 庭	フ ー ド デ ザ イ ン	2～6					②		0・2	
主 として 専 門 学 科 に お いて 開 設 さ れ る 教 科 小 計			9		13・15		13・15・20		35・37・44	
校 外 学 習 活 動	就 業 体 験	1～20								
	知 識 及 び 技 能 審 査									
総 合 的 な 学 習 の 時 間					1				1	
履 修 単 位 の 計 (校 外 学 習 活 動 を 除 く)			30		30		30		90	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1		1		1		3	
	生 徒 会 活 動									
	学 校 行 事									

- 備考・○、( )、[ ]、〈 〉、□は1科目選択。
- ・ 共通教科選択者は★を選択し、専門教科選択者は☆を選択する。ただし、3年次□の「フードデザイン」については、共通教科選択者、専門教科選択者に関係なく選択することができる。
  - ・ 総合実習は、1年次は土木・林業。2年次は土木コース（測量）、林業コース（造園技術・林産物利用）の2パート。
  - ・ 総合実習の各学年1単位は時間割外総合実習で長期休業中に実施する。内容は時間割内総合実習に準ずる。
  - ・ 科目「社会と情報」2単位は1年次の「農業情報処理」2単位で代替する。
  - ・ 「総合的な学習の時間」3単位のうち、2単位を「課題研究」で代替する。

教科・科目		学 科 標準単位	商 業 科				情報処理科				
			1年	2年	3年	履修単位の計	1年	2年	3年	履修単位の計	
各学科に共通する各教科	国語	国 語 総 合	4	4			4	4			4
		国 語 表 現	3			□3	0, 3			□3	0, 3
		現 代 文 B	4		3	2	5		3	2	5
	地理 歴史	世 界 史 A	2		2		2		2		2
		日 本 史 A	2			△2	0, 2			△2	0, 2
		地 理 A	2			△2	0, 2			△2	0, 2
	公民	現 代 社 会	2	2			2	2			2
	数学	数 学 I	3	2	2		4	2	2		4
		数 学 A	2			2	2			2	2
	理科	科 学 と 人 間 生 活	2	2			2	2			2
		生 物 基 礎	2		2		2		2		2
	保健 体育	体 育 7~8	7~8	2	2	3	7	2	2	3	7
		保 健	2	1	1		2	1	1		2
	芸術	書 道 I	2	2			2	2			2
	外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 I	3	3			3	3			3
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 II	4		3	3	6		3	3	6
		英 語 会 話	2			■3	0, 3			■3	0, 3
	家庭 情報	家 庭 総 合	4		2	2	4		2	2	4
	社 会 と 情 報	2									
主として専門学科において開設される各教科	商業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2~4	2			2	2			2
		課 題 研 究	2~6			3	3			3	3
		総 合 実 践	2~6			3	3				
		マ ー ケ テ ィ ン グ	2~4		○3		0, 3				
		ビ ジ ネ ス 経 済	2~4			■3	0, 3			■3	0, 3
		経 済 活 動 と 法 律	2~4			□3	0, 3			□3	0, 3
		簿 記	2~5	6			6	3			3
		財 務 会 計 I	2~4		○4, ●5		4, 5		4		4
		財 務 会 計 II	2~4			■3	0, 3			■3	0, 3
		原 価 計 算	2~4		○3, ●5		3, 5			□3	0, 3
		情 報 処 理	2~4	3	2		5	6			6
		ビ ジ ネ ス 情 報	2~4			3	3		3		3
		電 子 商 取 引	2~4			□3	0, 3			2	2
		プ ロ グ ラ ミ ン グ	2~4						5		5
ビ ジ ネ ス 情 報 管 理	2~5							4	4		
総 合 的 な 学 習 の 時 間											
履 修 単 位 の 計			29	29	29	87	29	29	29	87	
特別活動	ホ ー ム ル ー ム 活 動 (週あたりの時間数)		1	1	1	3	1	1	1	3	
	生 徒 会 活 動		別途計画								
	学 校 行 事										

△、□、■ は、それぞれ1つを選択  
 ●、○ は、どちらかをまとめて選択  
 「総合的な学習の時間」は課題研究3単位で代替  
 情報の「社会と情報」は、1年次の情報処理で代替

#### 4 伊万里地区の学科の状況

##### (1) 配置

伊万里地区の学科及び募集定員（440人 11学級規模）

普通科 200人（5学級規模）

（伊万里高校 200人）

専門学科 240人（6学級規模）

（農業科：伊万里農林高校 120人、商業科：伊万里商業高校 120人）

##### 【農業科、商業科の全県配置】



県内の農業系高校、商業系高校の小学科（数値はH28募集定員）

##### 【農業に関する学科を持つ高校】

高志館高校 …食品流通科 40、園芸科学科 40、環境緑地科 40

唐津南高校 …生産技術科 40、食品流通科 40、生活教養科（福祉系）40

佐賀農業高校 …農業科学科 40、食品科学科 40、環境工学科 40

伊万里農林高校…生物生産科 40、食品化学科 40、森林工学科 40

##### 【商業に関する学科を持つ高校】

鳥栖商業高校 …商業科 120、流通経済科 40、情報管理科 40

佐賀商業高校 …商業科 160、情報処理科 80

唐津商業高校 …商業科 120、会計科 40

杵島商業高校 …商業科 80、情報処理科 40

鹿島実業高校 …商業科 40、情報処理科 40、食品調理科（家庭系）40

伊万里商業高校…商業科 80、情報処理科 40

## (2) 伊万里地区の高校別志願状況

地区名	高校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
伊万里地区	伊万里	1.01	1.02	1.05	0.98	0.95	1.00	0.91	0.90	0.91	1.11	1.13	1.11	1.10	1.07	1.03	1.06	1.02	1.03	1.06	1.00	
	伊万里農林	1.15	1.10	1.06	1.38	1.29	1.41	1.18	1.11	1.21	1.50	1.28	1.23	1.14	1.19	1.23	1.22	1.15	1.26	1.23	1.17	
	伊万里商業	1.08	1.18	1.24	1.24	1.32	1.38	0.93	1.09	1.01	0.98	1.13	1.32	1.09	1.11	1.19	1.09	1.13	1.01	1.00	1.03	

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

### < 伊万里農林高校と伊万里商業高校の小学科別志願状況 >

学校名・学科名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
伊万里農林高校	全体	1.15	1.10	1.06	1.38	1.29	1.41	1.18	1.11	1.21	1.50	1.28	1.23	1.14	1.19	1.23	1.22	1.15	1.26	1.23	1.17	
	生物生産科	0.93	1.30	1.20	1.60	1.38	1.65	1.08	1.30	1.19	1.70	1.55	1.47	1.25	1.25	1.16	1.18	1.35	1.38	1.40	1.43	
	食品化学科	1.63	1.13	1.13	1.25	1.25	1.07	1.35	1.10	1.13	1.65	1.25	1.13	1.10	1.05	1.06	1.35	1.15	1.28	0.88	0.88	
	森林工学科	0.90	0.88	0.88	1.30	1.25	1.48	1.10	0.93	1.31	1.15	1.05	1.09	1.08	1.28	1.47	1.13	0.95	1.13	1.40	1.20	
伊万里商業高校	全体	1.08	1.18	1.24	1.24	1.32	1.38	0.93	1.09	1.01	0.98	1.13	1.32	1.09	1.11	1.19	1.09	1.13	1.01	1.00	1.03	
	商業科	1.33	1.23	1.15	1.16	1.28	1.35	1.01	1.09	1.05	1.08	1.25	1.36	1.14	1.13	1.21	1.14	1.20	1.13	0.96	1.01	
	情報処理科	0.60	1.08	1.39	1.40	1.40	1.45	0.75	1.10	0.94	0.80	0.90	1.24	1.00	1.08	1.17	1.00	0.98	0.74	1.08	1.08	
県全体	1.21	1.19	1.16	1.20	1.17	1.17	1.19	1.16	1.15	1.21	1.18	1.20	1.20	1.15	1.15	1.18	1.14	1.15	1.19	1.14		

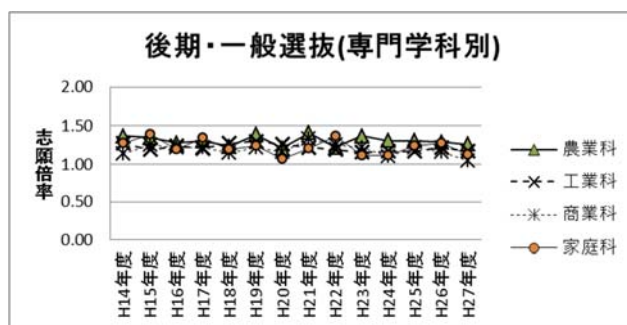
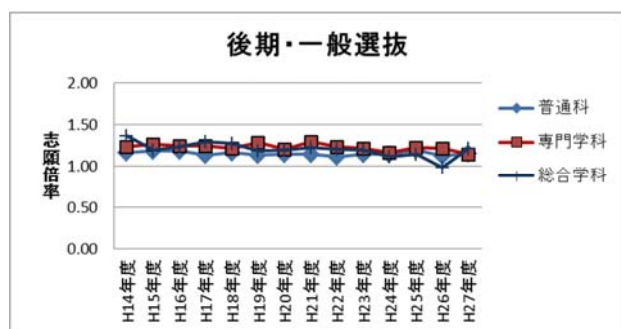
※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

### 【参考1 県全体の学科別志願状況】

後期・一般	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
普通科	1.11	1.14	1.14	1.19	1.12	1.15
専門学科	1.23	1.21	1.16	1.22	1.21	1.14
農業科	1.22	1.37	1.31	1.31	1.29	1.26
工業科	1.19	1.16	1.17	1.17	1.22	1.17
商業科	1.25	1.22	1.10	1.22	1.16	1.05
家庭科	1.37	1.11	1.11	1.24	1.27	1.13
総合学科	1.20	1.19	1.11	1.14	0.98	1.21
県立全体	1.16	1.17	1.15	1.20	1.15	1.15

理数科及び芸術科は普通科に含む。



【参考2 商業科の小学科別志願状況】

大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
商業		1.28	1.24	1.25	1.25	1.25	1.22	1.24	1.20	1.10	1.16	1.19	1.22	1.20	1.14	1.16	1.11	1.10	1.05	1.15	1.13	
	商業系	1.36	1.27	1.24	1.27	1.30	1.27	1.24	1.23	1.10	1.18	1.20	1.21	1.29	1.19	1.18	1.13	1.14	1.09	1.20	1.18	
	情報系	1.02	1.14	1.20	1.20	1.09	1.07	1.21	1.13	1.09	1.06	1.13	1.25	0.90	0.98	1.08	1.04	0.95	0.93	0.98	0.96	
	その他	1.20	1.30	1.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。  
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。  
 ※くり募集は商業系に含む。

【参考3 農業科の小学科別志願状況】

大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
農業		1.22	1.22	1.22	1.22	1.23	1.37	1.34	1.25	1.31	1.41	1.37	1.31	1.23	1.25	1.29	1.25	1.21	1.26	1.35	1.31	
	生産系	0.98	1.26	1.35	1.18	1.09	1.43	1.31	1.31	1.39	1.38	1.35	1.31	1.15	1.18	1.27	1.19	1.34	1.26	1.31	1.21	
	食品系	1.65	1.34	1.29	1.53	1.47	1.32	1.50	1.35	1.27	1.79	1.59	1.31	1.55	1.43	1.31	1.48	1.23	1.28	1.53	1.48	
	土木系	0.86	0.93	1.01	0.87	1.10	1.35	1.15	1.05	1.25	0.96	1.12	1.32	0.90	1.13	1.29	1.03	1.00	1.24	1.18	1.23	
生活系	1.55	1.45	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。  
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。  
 ※農業科の生産系学科は「園芸工学科」「生産技術科」「生物生産科」「農業科学科」とする。  
 ※農業科の食品系学科は「食品流通科」「食品化学科」「食品科学科」とする。  
 ※農業科の土木系学科は「緑地土木科」「森林工学科」「環境工学科」とする。  
 ※農業科の生活系学科は「生活文化科」とする。

(3) 伊万里地区の中学生の進路状況

伊万里地区の中学生の進路状況を分析すると、7割以上が県内公立高校に進学しており、普通科は約3割、専門学科は4割を超えている。地域としてはほとんどの生徒が、地元である旧西部学区へ進学している。

伊万里地区 中卒者進路	全日制			定時制・ 通信制	高専・ 特別 支援	就職等 左記 以外	卒業 者数
	県内 公立	県内 私立	県外 公私立				
平成23年 3月卒	504 73.5	115 16.8	23 3.4	20 2.9	15 2.2	9 1.3	686
平成24年 3月卒	499 75.6	83 12.6	27 4.1	25 3.8	7 1.1	19 2.9	
平成25年 3月卒	476 71.8	107 16.1	41 6.2	16 2.4	10 1.5	13 2.0	648
平成26年 3月卒	484 74.7	75 11.6	36 5.6	22 3.4	11 1.7	20 3.1	
平成27年 3月卒	478 73.1	93 14.2	36 5.5	25 3.8	10 1.5	12 1.8	654
5年集計	2,441 73.7	473 14.3	163 4.9	108 3.3	53 1.6	73 2.2	

伊万里農林高校及び  
伊万里商業高校への通学状況

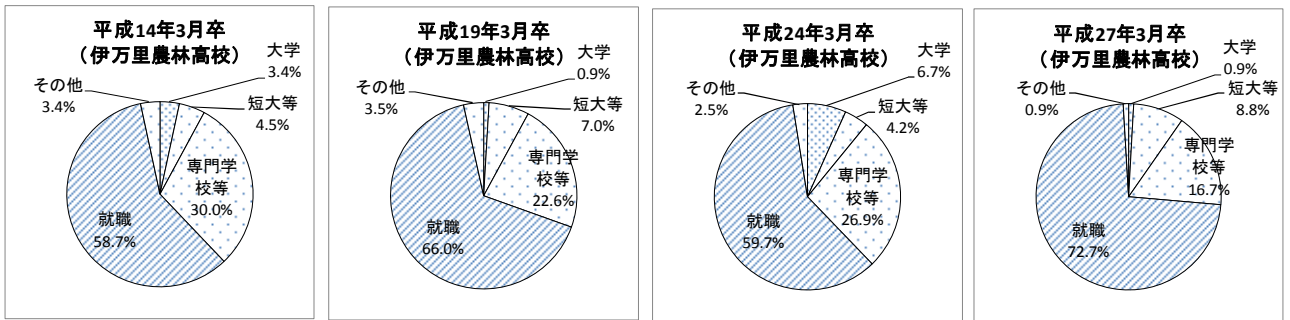
	旧東部	旧中部	旧北部	旧西部	単位: %	
					うち伊万里市	県外等
伊万里農林高校	0.2	0.2	1.0	95.0	72.5	3.7
伊万里商業高校	0.0	0.0	0.5	95.8	79.0	3.7

注)平成23年～平成27年度の高校1年在籍者の出身中学校を基に、旧学区ごとの割合を示す。(各年度5月1日現在)

(4) 伊万里農林高校と伊万里商業高校の高校卒業後の進路状況

農業科

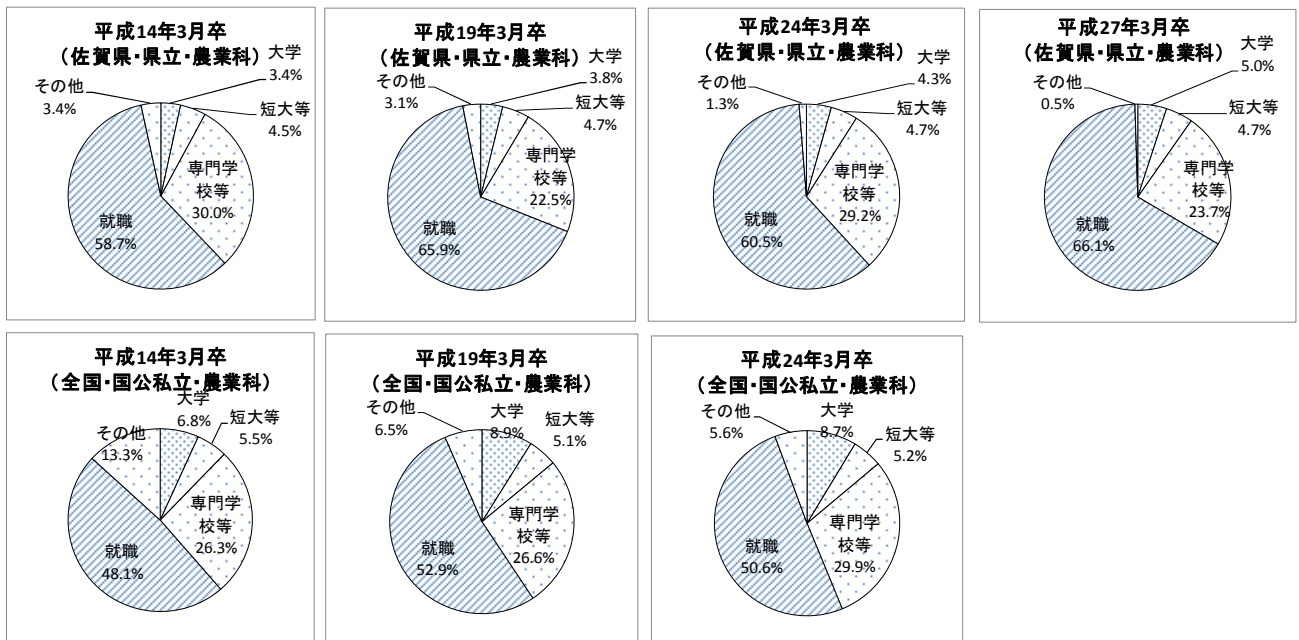
【伊万里農林高校卒業後の進路状況】



【参考 本県と全国の農業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・農業科

下段：全国・国公私立・農業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(私立) 梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、九州龍谷短大、長崎短大

(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、中村調理製菓専門学校、佐賀調理製菓専門学校、伊万里看護学校、佐賀農業大学校

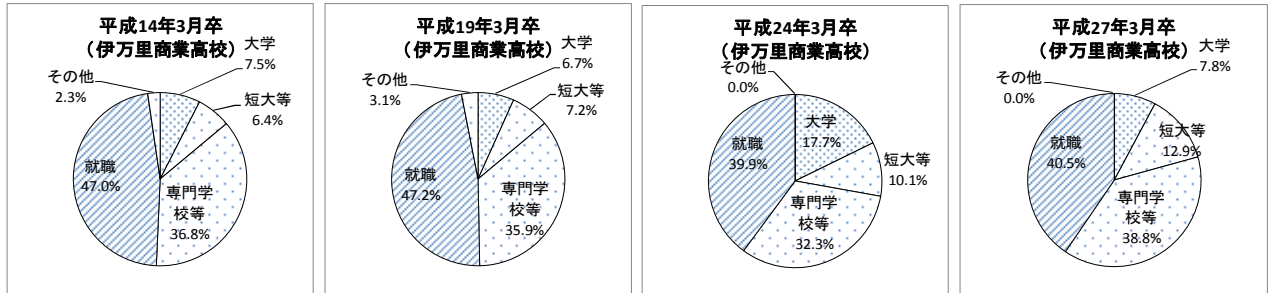
< H27.3 卒業生の主な就職先 >

伊万里市農業協同組合、伊万里湾運輸、山元記念病院、伊万里有田共立病院、亀栄建材、川井産業、川原建設、黒木建設、九州内田鍛工、JA フーズさが、S U M C O、Y S K九州工場、アンスコ、市丸建設、伊万里木材市場、かねは食品、(株)玄海テック、スミショー、名村造船所、ノリタケカンパニーリミテッド、フタバ九州、マツダオートザム伊万里、丸兄商社、モスフードサービス、友愛石油、佐川急便、ヤマト運輸、玉屋、モスバーガー、宗政酒造、宮島醤油、たらみ、フランソア、マツダ、トヨタ自動車、山崎製パン、リョーユーパン、若木ゴルフ倶楽部、長崎キャノン、ハウステンボス、エレナ、王子紙業、自衛隊



商業科

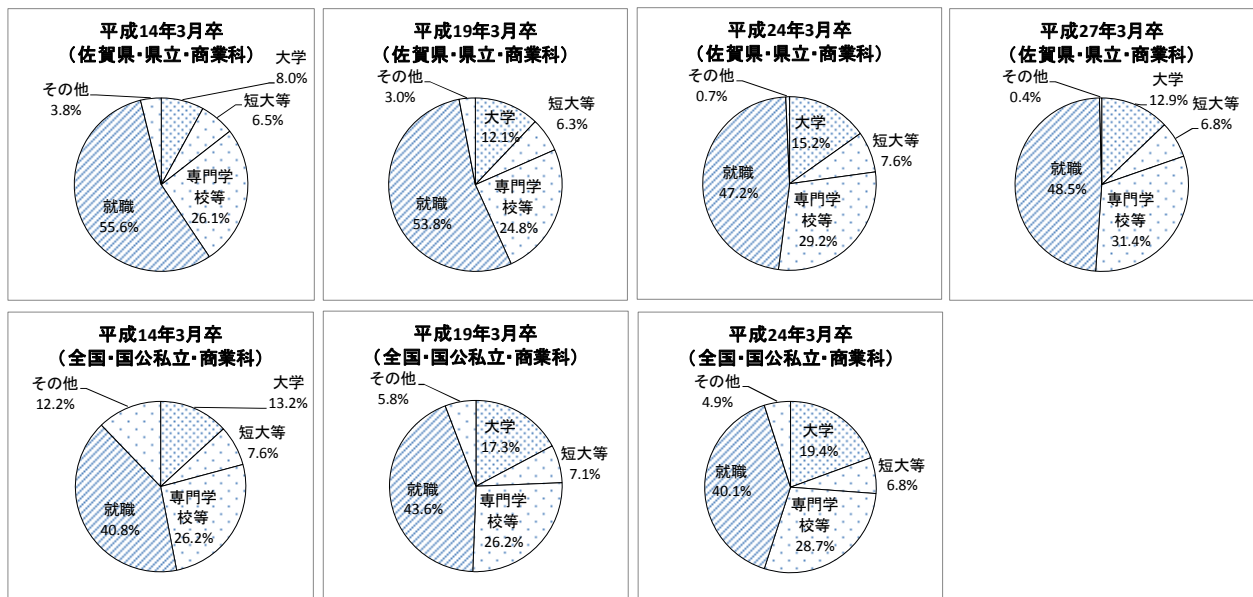
【伊万里商業高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の商業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・商業科

下段：全国・国公立・商業科



< H27.3 卒業生の主な進学先 >

(国公立) 長崎県立大学、兵庫県立大学

(私立) 西九州大学、九州共立大学、中村学園大学、熊本学園大学、梅花女子大学

(短期大学) 西九州短大、佐賀女子短大、長崎短大、香蘭女子短大、福岡女子短大、精華女子短大

(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館、佐賀歯科衛生専門学校、麻生医療福祉専門学校、福岡看護専門学校

< H27.3 卒業生の主な就職先 > 佐賀共栄銀行、佐賀西信用組合、伊万里信用金庫、山崎製パン、デン

ソー、日本特殊陶業、林テレンプ、マツダ、昭和金属工業、JR九州、トヨタ自動車九州、ハウステンボス、佐賀県畜産公社、伊万里鉄工所、やましげ、伊万里湾運輸、SUMCO、深川製磁、西松浦通運、西田病院、エヌ・ティー、扶桑エンジニアリング、マップ・パートナーズ、アンスコ九州、アイ・エス、アイ・ケア、前田病院、山口病院、伊万里有田共立病院、西田病院、自衛隊

### 3 農業と商業の融合学科について

< 農業科と商業科の両方の教育内容を持つ他県の高校との開設科目の比較（専門科目のみ） >

教科	科目	三本木農業高校		明野高校	吉野川高校	伊万里農林高校					伊万里商業高校	
		農業経済科		流通科学科	食ビジネス科	生物生産科		食品化学科	森林工学科		商業科	情報処理科
		経営管理コース	食品流通コース			植物コース	動物コース		土木コース	林業コース		
農業	農業と環境	●	●	●		●	●	●	●	●		
	課題研究	●	●	●		●	●	●	●	●		
	総合実習	●	●	●		●	●	●	●	●		
	農業情報処理	●	●	●		●	●	●	●	●		
	作物					●	●					
	野菜					●						
	果樹	●	●			●						
	草花					●						
	畜産						●					
	農業経営	●		●		●	●					
	農業機械					●	●					
	植物バイオテクノロジー			●		●						
	動物バイオテクノロジー						●					
	グリーンライフ			●		●	●					
	動物科学★						●					
	食品製造	●	●	●	●			●				
	食品化学							●				
	微生物利用							●				
	食品流通		●	●				●				
	食品衛生学★							●				
	森林科学									●		
	森林経営									●		
	林産物利用									●		
	農業土木設計								●			
	農業土木施工								●			
	造園技術								●	●		
	測量								●	●		
	水環境								●			
	農業経済	●	●	●								
	造園計画											
	環境緑化材料											
	生物活用											
アグリプログラミングⅠ★			●									
アグリプログラミングⅡ★			●									
農業情報デザイン★			●									
農業ビジネス★			●									
茶の文化★			●									
計算技術★	●	●										
総合演習★	●	●										
商業	ビジネス基礎				●						●	●
	課題研究				●						●	●
	総合実践				●						●	
	マーケティング			●	●						●	
	ビジネス経済										●	●
	経済活動と法				●						●	●
	簿記	●	●	●	●						●	●
	財務会計Ⅰ			●							●	●
	財務会計Ⅱ										●	●
	原価計算			●	●						●	●
	情報処理				●						●	●
	ビジネス情報	●									●	●
	電子商取引				●						●	●
	プログラミング											●
	ビジネス情報管理											●
	ビジネス実務					●						
	商品開発		●		●							
	広告と販売促進		●		●							
	ビジネス経済応用											
	管理会計											
ビジネス計算★					●							
起業実践★					●							
家庭	フードデザイン				●	●	●	●	●			

※記号の説明 ●…開設されている科目 ★…学校設定科目

青森県立三本木農業高等学校 内容は同校ホームページ等による。

(1) 沿革

- M31.10 青森県農学校として創立。
- S23. 4 青森県立三本木農業高等学校と改称。
- S42. 4 文部省指定自営者育成農業高等学校（現農業経営者育成高等学校）となる。
- < 農業経済科の経緯 >
  - S27. 4 商業課程設置。
  - S40. 4 商業科廃止。
  - H元. 4 農業経済科設置。

(2) 学科と募集定員（平成 27 年度入学生 数値は人）

【計 210 人 5 学級 / 学年】

農業科（植物科学科 35、動物科学科 35、農業機械科 35、  
環境土木科 35、農業経済科 35、生活科学科 35）  
生活科学科は平成 28 年度に募集停止。

(3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
農業経済科	< 3 年次コース（1、2 年次は共通） > <u>経営管理コース</u> 簿記や農業会計、情報処理などを通じた経営管理やマネジメント手法の学習。 <u>食品流通コース</u> 食品の特性や加工方法、商品開発の手法や流通経路の学習。

(4) 特色

- 農業経済科の生徒のアイデアを基に、ローソンとのコラボでりんごの形をしたパンを開発。
- 農業経済科では研究室を設置し、プロジェクト学習及び発表会を実施。
  - 農産物研究室...県産品を用いた、高校生向け米粉パンの製品化への挑戦。
  - 食品開発研究室...地域特産品を用いた商品化への取り組み。
  - 農村問題研究室...地域で収穫された農産物による簡単手軽な調理方法の開発。
  - 農業情報処理研究室...リモートカメラを用いた圃場監視システムの開発。

(1) 沿革

M12.7 三重県勸業試験場として創立。

S23.5 三重県明野養蚕学校と三重県田丸実業女学校が統合し、三重県明野高等学校となる。

S30.4 三重県立明野高等学校と改称。

< 流通科学科の経緯 >

S63.4 農業科の小学科として経済科設置。

H27.4 経済科を流通科学科に改編。

(2) 学科と募集定員(平成28年度入学生 数値は人)

【計200人 5学級/学年】

農業科(生産科学科40、食品科学科40、流通科学科40)

家庭科(生活教養科40)

福祉科(福祉科40)

(3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
流通科学科	農産物と生産資材の流通、情報処理に関する知識や技術を学習し、農業経営や流通・サービス活動に活用できる能力と態度を育てる。

(4) 特色

2年次にキャリアプラン(1単位科目 農業系3学科共通)を設定。

農家見学、農業自営者等による講演会等でキャリア教育を実施。

農業系3学科での総合選択制。

生産物販売所(週3回営業)を校内に設置。



(明野高校ホームページから引用)

## (1) 沿革

H24.4 阿波農業高校（農業科学科、園芸科学科）と鴨島商業高校（商業科、経営情報科）が統合。

## (2) 学科と募集定員（平成28年度入学生 数値は人）

【計130人 5学級/学年】

農業科（農業科学科25、生物活用科20）

商業科（会計ビジネス科25、情報ビジネス科30、食ビジネス科30）

## (3) 学科の教育内容

学科名	教育内容
食ビジネス科	野菜・果樹の栽培、地域食材を使った調理、製菓など食材調達から調理、商品開発、店舗経営までを学習。 自然食レストラン経営、食品販売など食ビジネス従事者の育成。

## (4) 特色（「徳島県農工商教育活性化方針」から吉野川高校について抜粋）

## 【農業科】

特色ある地方製品の活用や販路確立による地域産業支援。

- ・地域食材の積極的な活用や地域食文化の保存事業。
- ・イベント開催による販路確保。

農産物販売所「アグリ吉野川」の運営を通じたビジネスマナーの習得と経営力育成の取り組み。

商業科並びに企業との連携による商品開発の促進。

## 【商業科】

地域の企業や農業科と連携した商品開発。

吉野川市・阿波市との連携。

- ・吉野川コレクション等への参加。
- 「スクールカフェ吉野川」の運営を通じた実践力の育成。
- ・農産物販売所アグリ吉野川と同時開催。
- ・出張スクールカフェの開催。

### 資料3 新高校の校地について

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」

< 新実施計画内容 >

伊万里地区の生徒減少に合わせ、平成31年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校の校地又は校舎制 (校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。)
募集定員	1学年 200人(5学級規模)
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人(1学級相当)減じる必要があると見込んでいる。

#### 参考資料

#### 1 伊万里地区高校再編計画における新実施計画以前の主な経緯

平成14年10月 定例教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画」

- < 内容 >
- ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入
  - ・開校年度：平成17年度
  - ・設置場所：伊万里商業高校の校地
  - ・学校規模：1学年6学級(農業科2学級、商業科4学級)

平成17年2月 臨時教育委員会

「佐賀県立高等学校再編整備第一次実施計画における専門高校等の再編計画」

- < 内容 >
- ・伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編し、総合選択制を導入
  - ・開校年度：平成22年度
  - ・設置場所：伊万里商業高校の校地
  - ・学校規模：1学年6学級(農業科2学級、商業科4学級)

平成20年3月 臨時教育委員会

「伊万里地区の高校再編計画について」

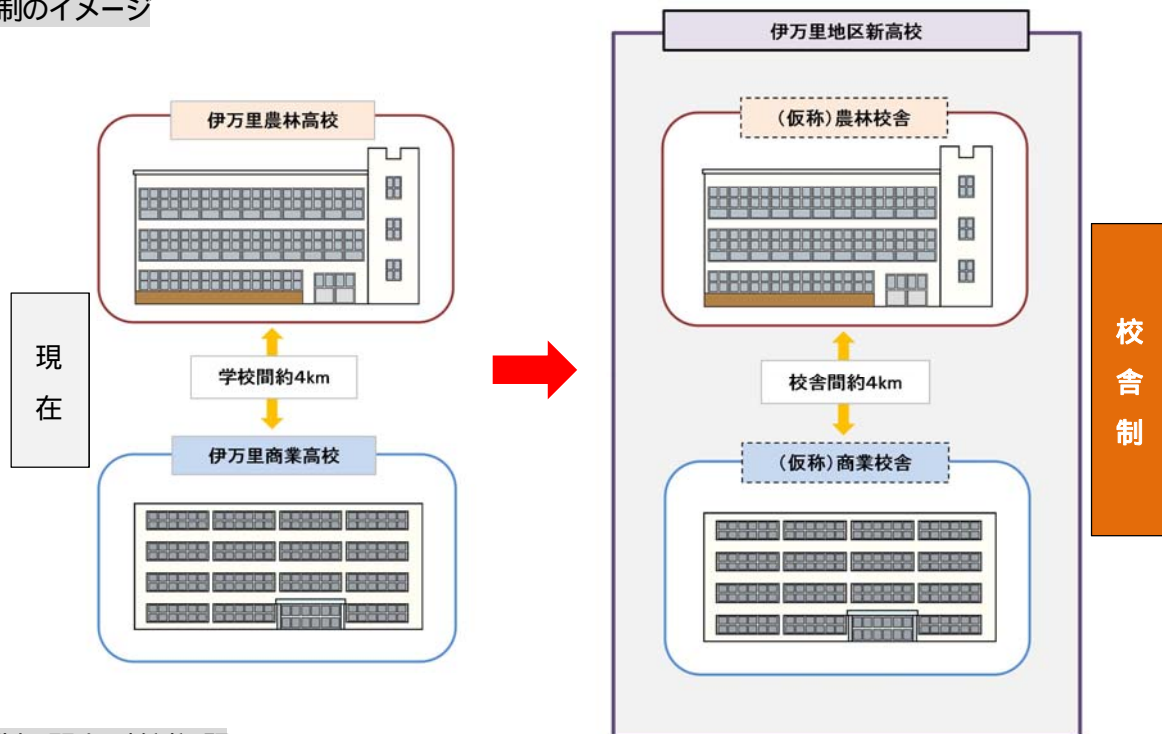
- < 内容 >
- 地元の提案を踏まえ、伊万里農林高校と伊万里商業高校の平成22年度の再編実施を延期し、両校の再編については地元の理解を求めていくことを決定。

#### 【地元の提案】

- ・平成22年度は伊万里農林高校、伊万里商業高校のそれぞれを3学級の単独校として存続させる。
- ・両校の老朽化や耐震化への対応や3学級規模での教育効果などの課題を検証しながら、今後予想される時期の生徒減少期(平成31年度頃)までには、伊万里商業高校と伊万里農林高校を再編する。
- ・新高校の校地については、通学の利便性や施設の老朽化などを考慮して、伊万里商業高校の校地が適当と考える。

## 2 校舎制について

### 校舎制のイメージ



### 校舎制に関する検討課題

#### (1) 行事について

合同実施が望ましい行事

【例】式典、学校祭、修学旅行、高校総体壮行会、芸術鑑賞会、全校集会、学年集会等  
行事の際の移動

【例】式典の場合は大型バスをチャーター(往復)し、一方の学校で実施(入学式・卒業式は生徒+保護者)  
終日あるいは半日実施の行事については、各自で会場へ集合

#### (2) 部活動について

部活動種目の見直し 新高校校内委員会で検討

活動場所の割り振り 移動生徒数をシミュレーション

部活動の際の移動

【例】・ 放課後にバスを3往復(部活動開始・終了時とその中間)させる。  
・ 活動場所が帰路にあるものは、自転車や公共の交通機関等で各自移動させる。  
・ 平日の合同練習を週3日とし、その日はバスを運行する(高校総体、新人戦前などはこの限りでない)

#### (3) 職員配置・会議の在り方について

管理職の配置

【例】・ 学校長は曜日ごとに、それぞれの校舎で勤務する。  
・ 学校長は一方の校舎に常駐し、もう一方の校舎に副校長を配する。

校務分掌主任の配置

【例】・ 分掌主任は一方の校舎にまとめる。  
・ 分掌主任と副主任をバランスよく両校舎に分散させる。  
・ 両校舎それぞれに分掌主任を配する。

会議の在り方

【例】・ 職員会議等は、どちらか一方の校舎において合同で実施する。  
・ 職員会議等は、それぞれの校舎で実施する。(その場合、管理職はどちらの会議にも出席する)  
・ 年度当初、学校祭、高校入試等に関する会議は合同、それ以外は校舎単独で実施する。  
・ 運営委員会も職員会議に準じる。

#### (4) その他

・ 校務分掌の見直し ・ 校時の検討 ・ 校舎間の連絡

熊本県立阿蘇中央高等学校

(1) 沿革

H22.4 阿蘇高等学校(普通科、商業科)と阿蘇清峰高等学校(生物科学科、林業・農業土木科、社会福祉科)が統合。

各校舎の位置 【校舎間の距離約 3.1 km】



(2) 学科と募集定員

【計 280 人 7 学級 / 学年】

校舎	学科	H27 募集定員 (人)
阿蘇校舎 (旧阿蘇高校)	普通科	120
	総合ビジネス科	40
阿蘇清峰校舎 (旧阿蘇清峰高校)	農業食品科	40
	グリーン環境科	40
	社会福祉科	40

(3) 校舎制の状況 (H27.6.15 に学校訪問)

- ・ 副校長が阿蘇清峰校舎に、教頭が阿蘇校舎に常駐し、校長は月・水・金は阿蘇清峰校舎、火・木は阿蘇校舎に常駐している。
- ・ 各学科が複数の類型を持ち、なおかつ総合選択制を実施しているため、選択科目等の関係でカリキュラムは複雑化する。
- ・ 生徒の移動を伴うのは、授業 (総合選択制) 合同行事、部活動等である。
- ・ 入学式、卒業式の際は、保護者用のバスも準備する。
- ・ 部活動のための移動は、生徒各自で行う。ほとんどの生徒が 30 分程度をかけて徒歩で移動している。移動ルートのほぼすべてに歩道が設置されている。特に交通指導等はしていない。
- ・ 合同で行っている行事は、各式典 (入学式・卒業式・始業式・終業式・対面式) 宿泊研修 (1 年次) 体育祭・文化祭、農業体験 (田植え・稲刈り・収穫感謝祭) 修学旅行、芸術鑑賞会、ロードレース大会、クラスマッチ (年 1 回)。
- ・ 式典関係はすべて阿蘇校舎で行う (阿蘇清峰校舎の生徒が移動)。



(1) 沿革

H23.4 岡山県立落合高等学校（普通科、看護科、専攻科）と岡山県立久世高等学校（生産生物科、食品科学科）が統合。

各校地の位置 【校地間の距離約 6.4 km】



(2) 学科と募集定員

【計 210 人 5 学級 / 学年】

校地（校舎）	学科	H27 募集定員（人）
落合校地（旧落合高校）	普通科	80
	看護科	40
久世校地（旧久世高校）	生物生産科	35
	食品科学科	35

(3) 校舎制の状況（H27.11.19 に学校訪問）

- ・ 校長は月水木が落合校地、火金が久世校地での勤務。
- ・ 両校地で同じ制服を採用している。
- ・ 合同の行事は、入学式（落合校地）、卒業式（落合校地）、芸術鑑賞会（3年に1度）、学年交流会（各学年で行う）。＜各行事とも大型バスで移動＞
- ・ 授業での生徒の移動はなし。
- ・ 部活動に伴う生徒の移動は、中型バス（スクールバス）で週に2日間（月金）のみ送迎。
- ・ 両校舎を兼務しているのは理科、芸術の教諭。
- ・ 部活動の大会等は合同チームで出場。活動が活性化している。
- ・ 生徒指導面等の摺合せが難しい。年度当初の合同職員会議で申し合わせ事項を確認している。

(1) 沿革(再掲)

H27.4 北佐久農業高等学校(栽培システム科、生物サイエンス科、食品サービス科)、臼田高等学校(普通科、グリーンライフ科、デザイン科)、岩村田高等学校工業科(機械科、電子機械科、電気科)が統合。

(2) 学科と募集定員(再掲)

【計 280 人 7 学級 / 学年】

キャンパス(校舎)	学科	学級数	H27 募集定員(人)	
浅間キャンパス(旧北佐久農業高校)	農業科	栽培システム科	120 人 (くくり募集)	
		生物サイエンス科		
		食品サービス科		
	工業科	機械システム科	1 学級	40 人
		電気情報科	1 学級	40 人
臼田キャンパス(旧臼田高校)	創造実践科(総合学科)	2 学級	80 人	

平成 28 年度募集から、農業科は食料マネジメント科、生物サービス科、食農クリエイト科になる。

各キャンパスの位置 【校地間の距離約 9.6 km】



(3) 校舎制の状況 (H27.12.2 に学校訪問)

- ・ 一つの高校としての一体感を熟成していくことには配慮している。そのために、そのキャンパス、その学科でしかできないことと共同でできることの線引きをどこで行っていけばいいのかを現在模索中である。例えばキャンパス間ウォーク(両キャンパスを折り返して歩く)やクラスマッチ(各学年でどちらかのキャンパスに集まって行う)という行事は合同でやるが、文化祭はキャンパス別に行うということである。文化祭の別開催は「地域に開かれた学校」ということを考えた場合、1つのキャンパスのみの開催はできないだろうという発想である。
- ・ 1つのキャンパスで一斉に開催する行事については現地集合である。
- ・ 入学式、卒業式は浅間キャンパスで行っている(卒業式は予定)。
- ・ 生徒の授業でのキャンパス間移動はない。
- ・ 両キャンパスの兼務者は理科助手、音楽、美術、書道、農業の5人である。校務分掌がある方を本所属のキャンパスとしている。
- ・ 授業であれば産振用のマイクロバスを利用できる。通学用のバスはない。
- ・ 部活動について、巡回バス用の予算はない。平日は週2回(火、金)にPTAが持つマイクロバスを運行している。
- ・ 生徒指導面等での摺合せが難しい。
- ・ 求人(就職)と指定校(進学)については、1校扱いのため、両キャンパスで共有している。

## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設 置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
  - 二 新高校の施設・設備に関すること
  - 三 新高校への円滑な移行に関すること
  - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

## (組 織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
  - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
  - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会 議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

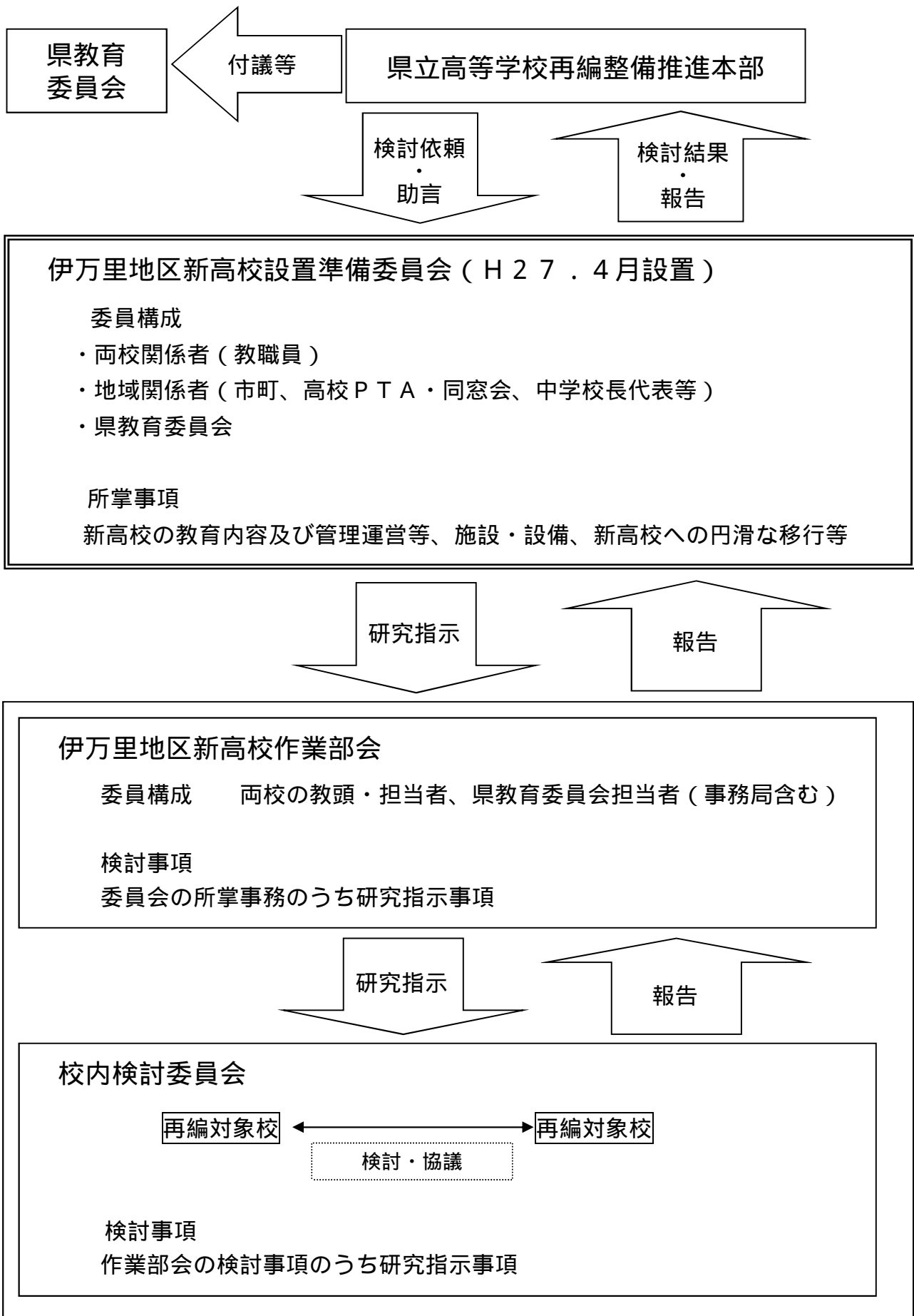
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補 足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料6 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考
1	伊万里農林高等学校 校長	酒見 良司	委員長・学校関係者
2	伊万里商業高等学校 校長	熊谷 正実	副委員長・学校関係者
3	伊万里農林高等学校 教頭	松本 英裕	学校関係者
4	伊万里商業高等学校 教頭	円城寺 祐子	
5	伊万里市教育長	森 哲也	伊万里市関係者
6	伊万里市政策経営部長	山本 洋一郎	
7	伊万里農林高等学校 同窓会代表	岩永 康則	地元関係者
8	伊万里商業高等学校 同窓会代表	森 日出生	
9	伊万里農林高等学校 P T A代表	金子 直幸	
10	伊万里商業高等学校 P T A代表	中島 智章	
11	伊万里市立東陵中学校長	坂本 浩幸	中学校関係者
12	教育政策課長	八谷 幸浩	県教委関係者
13	教育情報課長	碓 浩一	
14	教職員課長	福地 昌平	
15	学校教育課長	松尾 敏実	
16	保健体育室長	三上 智一	
17	教育支援課長	源五郎丸 靖	
18	県立高校再編整備推進室 室長	甲斐 照章	
19	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰	
事務局	伊万里農林高等学校教諭	木村 紀元	
	伊万里商業高等学校教諭	田中 順	
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄	
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎	